

施政方針
(要旨)



花と歴史につつまれた
未来へ羽ばたく
産業・交流都市を目指して



地方分権の進展により、地方自治体を取り巻く環境が大きく変化していく中、これからの自治体には、「自己決定、自己責任」がますます求められており、独自の地域経営による自立した自治体運営と地域の特性を生かしたまちづくりを進める必要があります。

平成19年度は、総合計画の実現と行財政改革を強力に推進する目的で大幅な機構改革を行うとともに、新たな行財政課題に対応するため、第四次行政改革の補強を行うなど、行財政改革に取り組みました。

平成20年度は、引き続き行財政改革を積極的に推進するとともに、豊かな市民生活の実現や産業の振興など、地域の活性化を目指します。

今後も、「市民本位」の市政を基本に、「花と歴史に つつまれた 未来へ羽ばたく 産業・交流都市」を目指して、大村市の希望に満ちた未来のために、誠心誠意、市政運営に取り組みます。



平成20年度に
重点的に取り組む施策

行政改革の推進と財政の健全化

- ・「第四次行政改革」の積極的な推進
- ・「第三次財政健全化計画」に基づく行財政基盤の強化

子育て支援の充実

- ・中学1年生、高校3年生を対象とした「麻しん・風しん」の予防接種の実施
- ・「地域子育て支援センター」の2か所増設
- ・児童虐待防止のための相談体制の充実

中心市街地の活性化

- ・「上駅通り地区第1種市街地再開発事業」の推進
- ・「大村市中心市街地活性化基本計画」の策定

企業誘致の推進

- ・「雇用の確保」と「地域経済の活性化」を図るための先端技術を有した優良企業の誘致の推進

歴史観光の推進

- ・「天正少年夢まつり」の開催
- ・個性豊かな魅力ある観光ルートの開発

環境にやさしい社会づくり

- ・CO₂削減を目指した地球温暖化防止対策の具体的取組の実施
- ・マイバッグ利用や生ごみリサイクルなどの普及・啓発活動とリデュース（ごみ減量）・リユース（再使用）・リサイクル（再資源化）の3R運動の推進

農林水産業の振興

- ・「集落営農総合支援センター」の設置などによる「集落営農組織等の育成・確保」の推進
- ・「認定農業者制度」の活用による「農業経営のスペシャリスト」および「多様な担い手」の育成
- ・地域ブランドに取り組み農産加工施設などへの支援
- ・赤貝やハマグリなどの資源管理型漁業の推進



市立病院の円滑な運営

- ・指定管理者制度を導入し、新生「市立大村市民病院」としてスタート

水資源の保全と利活用

- ・組織を横断的に調整する「水資源対策室」の設置

バス路線の見直し

- ・既存路線の見直しや再編を含めた、地域の実情に見合った「公共交通体系の再構築」



信頼と安心の教育環境づくり

- ・「教育のまち大村」を目指し、徳・知・体の調和のとれた教育の確立
- ・未来に羽ばたくたくましい子どもたちの育成
- ・子どもたちの安全・安心の学校づくりのための校舎などの耐震化の実施

競艇事業の経営健全化

- ・「大村競艇経営改善計画チャレンジ07」に基づく、売上げ拡大と経営効率化の促進
- ・場外発売場「オラレ島原（仮称）」の開設と本場の活性化
- ・ナイターレース実施に向けての取り組み





主な新規事業

大村市公共交通体系整備事業

・新たな公共交通手段導入の検討を含めた既存バス路線の見直しや再編

ハザードマップ策定事業

・大上戸川や郡川の浸水想定区域や避難場所などを記載したハザードマップの策定



池田沖田線整備事業

・国道444号から都市計画道路富の原坂口線までの1,440m(小路口工区)について国の事業認可後、県営事業として着工予定

地域づくり支援事業

・市内8地区の地域住民で構成する「市民プロジェクト」提案による地区別プランに基づく自主的な取り組みに対する助成



チャレンジデー開催事業

・人口規模が同程度の自治体と、ジョギングなどの運動を行った住民の参加率を競う住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」の開催

大村市次世代政策研究事業

・次世代を見据えた新たな研究課題として「観光バラ園」「白島の利活用」「国際村」の3つのテーマについて、政策課題の抽出や課題解決など、職員自らによる調査研究



※平成20年度施政方針の全文は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 企画政策課(内線222)